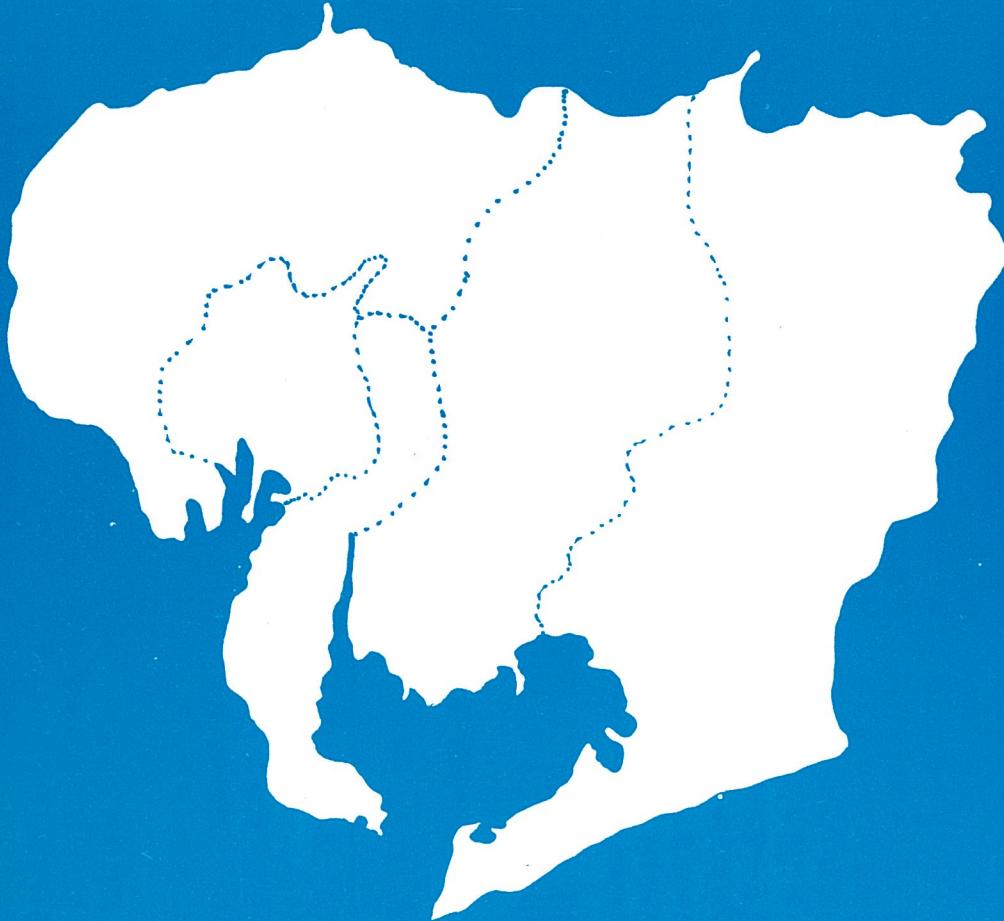


観 の 眼



——— 目 次 ———

巻頭言	2	地区だより	8
特別寄稿「観の眼」に寄せて	3	居合道だより	10
第5回全国剣道連盟対抗剣道優勝大会	4	会員の声	13
東海学生剣道連盟	6	手数料改正	15
育った若い力	7	平成元年度事業計画	16

第12号



財団
法人

愛知県剣道連盟

天狗の剣道と剣道の天狗

天狗は仏教に由来して、天笠から支那を経てわが朝に到り、近江に移り棲んだと伝えられる（今昔物語）。

好んで深山靈地に棲み、巨樹古木の精靈となり、摩訶不思議の力をもつて呪術武術に秀でた。日本固有の妖怪の一種となつた。深山幽谷ばかりでなく、時には人里近い森にも棲んで、修驗・苦行を重ね、神通力を現わす仙人で、人間の姿に仮託した観念上の靈物で、狩野元信の画によつて、鼻高・赤顔・白髪で嘴と翼があり、羽団扇と杖とを持つ山伏姿になり、謡曲「鞍馬天狗」によつて一躍世に知られるようになつた。

源九郎義経が牛若丸の頃鞍馬山の僧上ヶ谷で、大天狗に師事して一心に武術に励み、天狗もその志に感じて、平家追討の合戦には影身離れず弓矢の力を添えて守り通すと約束して梢に消えたという物語である。以後八大天狗と称して、鞍馬の僧正坊近江比良の次郎坊・大峯の善鬼愛宕山の宗術太郎・白峯の相模坊・大山の伯嗜坊・彦山の豈前

坊と飯縄の三郎の八名は特に有名で、信濃の戸隠・遠州秋葉山出羽の羽黒山などが天狗の巣窟として有名であった。

以来天狗と武術は切り離せない信仰となり、鞍馬流や正天狗流といふ劍術の流派をも生んだ。

天狗はもはや妖怪変化ではなく、実在の人間で、修驗難行を



卷頭三言

会長 山田 满 寛

積み、山地に隠棲した修法の奥義に達した山伏や役の行者をも指すようになつた。

天狗は昔、遠い處に棲んでいたと思込んでいたが、私の住む西尾にも明治初頭まで、近くの伊文神社の森にも棲んでいた。

河合八度兵衛といふ西尾藩の劍術の達人と仕合して負けた天狗

が、その羽団扇を八度兵衛に譲つて、消えたとの伝説が西尾市史に載っている。八度兵衛は明

治二年の西尾藩分限帳に士族隊中士隊に名を連ねた正銘實在の士族であった。こうした天狗伝説は日本全土に広く分布して、あたかも河童が河川渓谷に棲み水の精となつて相撲に關係づけて考えられたと類似している。

さて剣道の訓にある、守破離の離とは兵法者が師の流技の奥義を究め、更に新たなる工夫をして境界地を拓く心地であることは、明らかに自己の特性を活かした新境地を拓く心地であることは、

昔は知らず今の世では、剣道鍊達の人で、高段者範士と称せられる人々は、人格高潔で謙讓な、稔る程頭の下がる稻穂の例えの通りの人が多く、礼を尚ぶる心地の然らしめる処と信じ悦んでいる。

世に諸道諸芸を修める人は多いが、中には上達して有名人ともなれば、芸を鼻にかけ高慢不遜、すぐ天狗になり鼻持ちならん人がいかに多いことか。特に昨今はいかに多いことか。特に昨今はそんな人は見当らない。

今の芸能界のタレントには眼に見えるものがある。幸に剣道界にはそんな人は見当らない。

現在の芸能界ではもはや流派の劍設は望み難く、天狗になつた途端にその技の進歩は止まる。

今の世に剣の奥義を授ける天狗はない。と共に剣道の天狗は現れてはならない。と切望するものである。

これらの流祖は皆、守破離の修業課程を経て一流一派を創始した人々で、創草の頃には離の心境で天狗となつた人もある。微塵流の根岸兎角・天流の斎藤伝鬼坊等は、羽毛で衣を作り、

天狗が驕慢の輩・慢心の徒などの嫌悪する者になつたのは、平家物語などに「驕慢無道心の者死して天狗となる」より始つたといわれる。

昔は知らず今の世では、剣道鍊達の人で、高段者範士と称せられる人々は、人格高潔で謙讓な、稔る程頭の下がる稻穂の例えの通りの人が多く、礼を尚ぶる心地の然らしめる処と信じ悦んでいる。

世に諸道諸芸を修める人は多いが、中には上達して有名人ともなれば、芸を鼻にかけ高慢不遜、すぐ天狗になり鼻持ちならん人がいかに多いことか。特に昨今はいかに多いことか。特に昨今はそんな人は見当らない。

今の芸能界のタレントには眼に見えるものがある。幸に剣道界にはそんな人は見当らない。

現在の芸能界ではもはや流派の劍設は望み難く、天狗になつた途端にその技の進歩は止まる。

今の世に剣の奥義を授ける天狗はない。と共に剣道の天狗は現れてはならない。と切望するものである。

観の眼に寄せて

劍道範士 橫山定雄

特別寄稿



記 中川治彦
時 昭和63年11月20日
所 名古屋市霊橋スポーツセンター

昭和六十三年十一月二十日(日)本県剣道連盟主催による、第五回全国剣道連盟対抗剣道優勝大会が、名古屋市露橋スポーツセンターにて開催された。

この大会は、昭和二十九年に第一回中部地区剣道大会として始まり、昭和四十三年からは都道府県選抜剣道大会と、その内容・名称も改まり、幾多の名勝負を生んできた。そして昭和五十九年より現在の大会となり今回の第五回大会を迎えることになったのである。

今回も終始熱のこもった迫力満点の試合が展開され、観る者を大いに興奮させた。参加チームも、先の十一月三日に日本武道館で行われた第36回全日本剣道選手権大会で活躍した選手を擁し、各選手すばらしい試合をみせてくれた。

東京都は今年度全日本都道府県大会、全日本教職員剣道大会、それに京都での国民体育大会と、三大会制霸につづいて本大会の優勝を賭ており、それを阻もうと北海道の意気込み、そして地元愛知の二年連続三度目の本大会優勝なるか。さまざまの期待のうちに大会の火蓋が切つた落された。

警）・水田（教員）・堀山（教員）・稻吉（県警）・松本（実業団）といったメンバーで望んだ。

また名古屋市は田中監督ひきいる山崎（県警）・東（良）（県警）・安保（実業団）・祝（実業団）・神成（実業団）の選手構成であった。名古屋市チームは準々決勝で北海道と対戦。東選手は北海道林選手と今年度三回目の宿命の対戦となつたが（国体・全日本選手権、そして本大会）、過去二回林選手に敗れており、雪辱を果すべく健闘したが残念ながら惜敗。結果北海道に準決勝進出へ道をゆづる事になった。

愛知県は順調に駒をすすめ、決勝戦に進出。それぞれのもち味を生かしながら善戦し、相方互いに五分の試合であつたが一本差でもつて敗れ三回目の優勝はならなかつた。

先にも述べたが、本大会は歴史的にみても、その規模、試合内容からいつても、剣道界において實に意義の深い大会である。こうした大会を本県が主催・運営する事は県剣連会員の誇りもある。今後増々盛んになるとと思うが、もうひとつ運営面で物足りなさを感じる。それは観客動員である。これだけの素晴らしい大会をより以上に盛り上げるのはやはり

徳川の初期、山鹿素行はその著中朝事実神教章で、學問とか教育のことを、「修己治人」と言つてゐる。自己と対立して相互に助け合いの働きで他対立して相互に助け合いの働きであることを示してゐる。

剣道をするにも内的修養と、相手に対する外的影響がある。教える先生も、人を治めると同時に、自からを修めるべきことを、忘れてはならないと思う。

(二) 人生觀、生命觀

心理学恩師のお言葉である。剣道の指導を見て、生徒を責めることだけ厳しいものには魅力を感じない。人生觀、社会觀等、人間たる生徒の不安や悩みを察し、これを忘れさせたり、できれば解消し、少しでも安心に導びくような助けとなる剣道に心が惹かれるものだ。

こうして人の氣を興（おこ）し、行動を旺（さか）んにし、楽しくするものが本来の武道ではあるまいか。

倫理の先生は「武道は正義の抵抗力である」と定義せられた。病気や灾害を防ぐのも抵抗力、渴ても盗泉を汲まぬ忍耐力、義を見ては身を捨ててする勇気、これらが抵抗力で武道である。この頃世間に犯罪の多いこと。特に殺人のニュースに肝を冷している。簡単に殺す者、殺される者見ていて止めない者、皆人間だろうか。正義の払底、武道は何処えやら。剣道でレジスタンス・キャンペインというような、一大運動が欲しい。

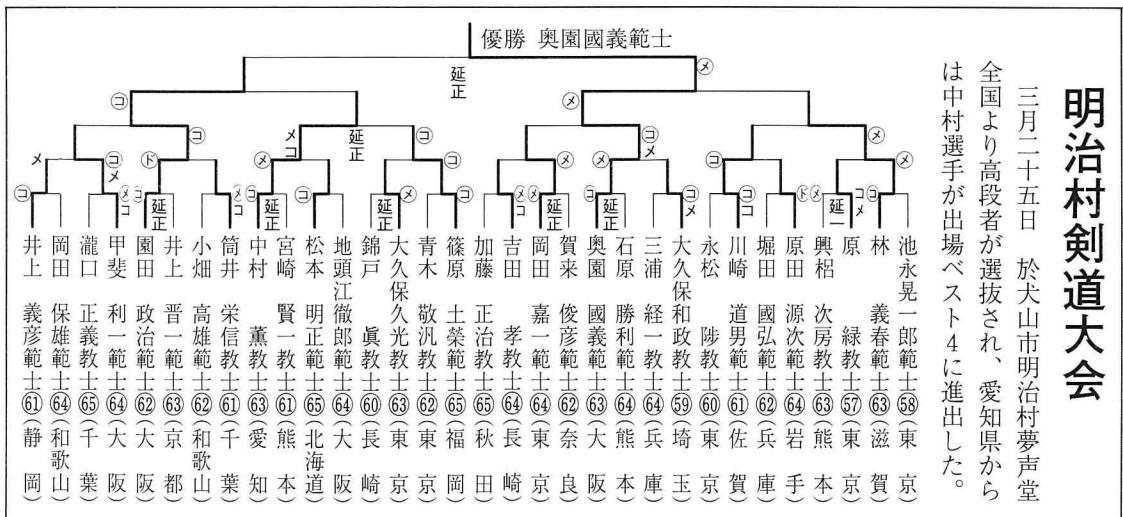
(四) 剣道の事故防止

嘗て剣道授業中の事故で片眼を失明した生徒の父兄から、市と教師に対し損害賠償を求め訴えられていた名古屋市中学教師に対し、名古屋地方裁判所は、昭和六十三年十二月四日「教師におちどはなかつた」との判決がくだされた。察するに生徒の注意力や責任負担能力を認めての判

(五) 試合の解説
昭和六十三年十一月、
名古屋市で行われた全国
大学女子剣道大会の、テ
レビ放映を見学した。
選手は服装は元より、
姿勢・態度・所作など、
すべてが日本女性として
立派であった。

技術は正しく、機敏に
行動して、意気をあげ、
汗を流し、運動効果を充
分に發揮している。

多分大学だけでなく、
中学・高校から、多年練
習効果の積みあげと思う。
就いては解説者は、選手
の試合経歴や勝敗予想だ
けでなく、剣道を解説し、
観衆の觀の眼開明を望む。



観戦者であろう。次回からは第一回戦から決勝戦まで、会場が最後まで観客で埋め尽されていくようになつた。また、マスコミへの働きかけをもつと積極的にし、できればテレビ放映も考えたら今まで以上に剣道普及につながるのではないだろうか。

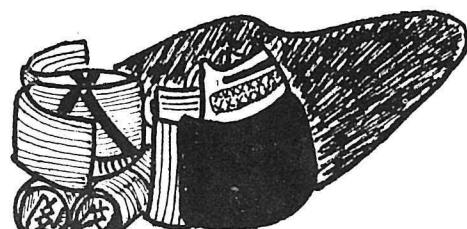
本大会の成績は次の通りであつた。

優勝 東京都（初優勝）

準優勝 愛知県

第三位 北海道・愛媛県

優秀選手 堀山健治（愛知）・安保正（名古屋市）・古川和男（北海道）・大塚尚弘（東京）・高橋俊昭（京都）・遠藤寛弘（愛媛）・三澤美朗（岡山）・山田博徳（熊本）



カット 豊明・栄中 稲垣郁子

東海学生剣道連盟

中野芳男

東海学生剣道連盟は三十五周年を迎えた。創立当時の加盟十大学が、現在は静岡・愛知・三重・岐阜四県内に所在する三十三大学の剣道部六百八十名の部員を擁し、関東・関西医連盟と共に、全日本学生剣道連盟傘下の重鎮として実績を挙げ、活動を高く評価されている。

役員はOB役員（会長国松巖・副会長・理事長・副理事長・常任理事・理事）と学生役員（幹事長今井浩二（愛知学院大）・副幹事長・会計・常任幹事・幹事・監事）から成り、理事会・当任理事会・幹事会・常任幹事会が運営の中枢となる。理事は加盟団体のOBから選出され、理事会に於いて正・副会長、正・副理事長、常任理事を推举、互選する。又幹事は加盟団体個々に選出され幹事会を

構成し、正副幹事長、会計・常任幹事・監事を推举し選出する。議決機関である。運営は学生が進んで参加し、学生が企画し、実行するという、

学生が主体となり自主的運営で、先輩OBは運営の円滑を図るアドバイザーの立場をとる。総ての運営は民主的・合議制で行われ、会議にはいつも遠く静岡、三重、岐阜からも役員が出席、討議に加つている。

昭和三十年十一月、第一回剣道大会を開催して以来、回を重ねて来たが、平成元年度の剣道大会は、五

月二日第36回全日本選手権、第21回女

子選手権大会、六月十一日第32回新

人戦大会、九月十五日第36回優勝大

会・新人戦大会、十一月十二日第8

回全日本女子学生優勝大会を主管し

ます。五月二十七・八日第34回西日

本学生・第4回西日本女子学生、七

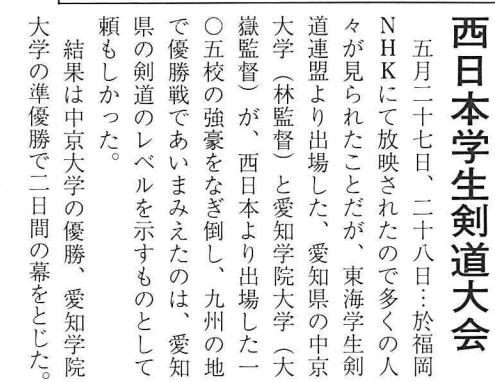
月二日第37回全日本選手権、第23回

全日本女子学生選手権・第36回全

日本女子学生優勝大会で、全国レ

ベルの大会として、愛知県で開催される明治村八段大会、連盟対抗大会

	先鉢	次鉢	五将	中堅	三将	副将	大将
決大	愛知学院学 校	安藤 菊池	板谷	近本 上杉	関口	山部	勝者数 1 取得本数 4
決まり手	メロ メロ	メロ メロ	メロ メロ	メロ メロ	メロ メロ	メロ メロ	勝者数 6 取得本数 10
勝中	京学 大	吉元 福島	白坂 鎌倉	近本 横山	吉留		



決勝戦成績表

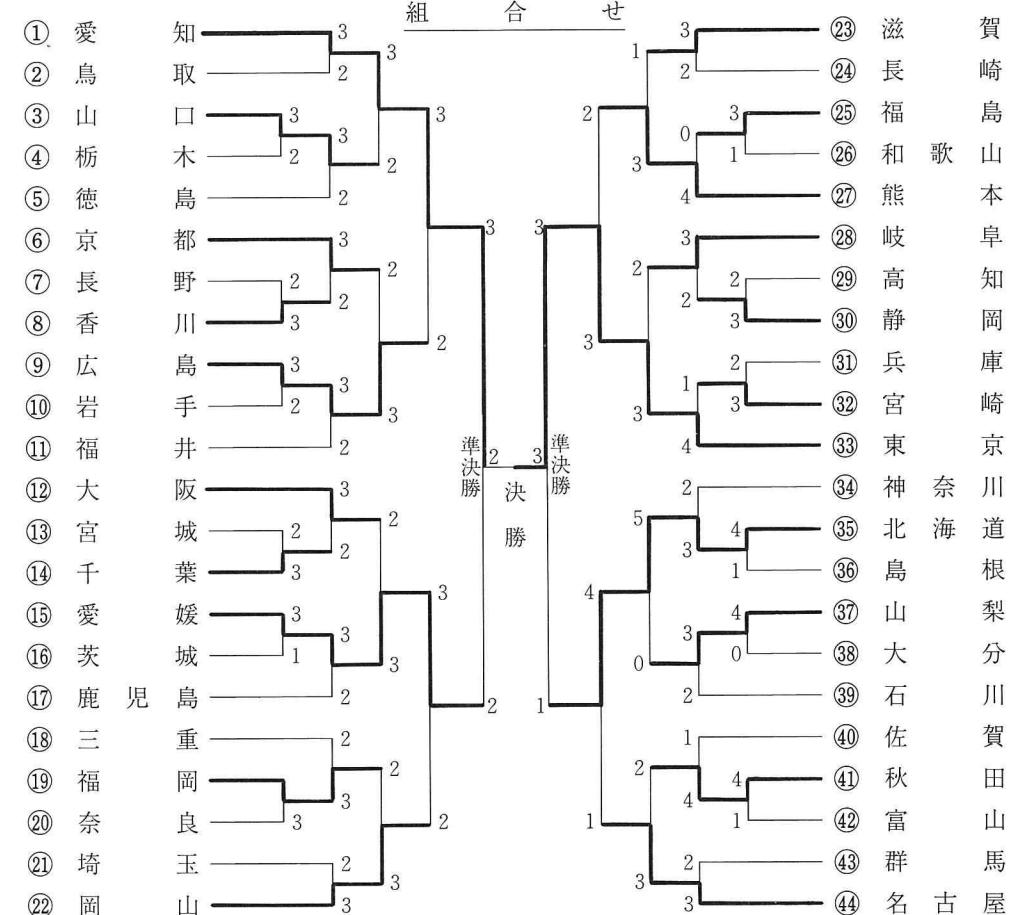
県名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	勝本数
愛知県	日比	水田	堀山	稻吉	松本	2	4
	(X) 延長三回	(X)	一本勝ち	(X)	一本勝ち		
東京都	(X) 延長三回	武藤	佐藤	村井	大塚	3	5

準決勝戦成績表

県名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	勝本数
愛知県	日比	水田	堀山	稻吉	松本	3	7
	(X) 延長二回	(X)	一本勝ち	(X)	一本勝ち		

準決勝戦成績表

県名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	勝者数	勝本数
東京都	武藤	佐藤	村井	大塚	朝内	3	7
	(X) 延長二回	(X)	一本勝ち	(X)	一本勝ち		
北海道	田中	林	島山	岡嶋	古川	1	4



◎準優勝 岡崎高
◎高校・大学・一般女子の部

優勝 中京大

準優勝 三河高

◎大学・一般男子の部

優勝 トヨタ自動車A

準優勝 中京大A

四、第14回西三河剣道段別女子選手権大会

八月二十八日

西尾高等学校体育館

鶴城中学校体育館

◎中学男子初段の部

優勝 齋藤智行 (平中)

◎高校以上男子初段の部

優勝 林達也 (平中)

◎二段の部

優勝 磯貝和美 (西高)

◎三段の部

優勝 高井健蔵 (日本電装)

◎四段の部

優勝 河野祐二 (名刑)

◎中学女子の部

優勝 荒木幸枝 (美里中)

◎高校一般女子の部

優勝 塩井川洋子 (西尾高)

◎63年度は中京大学の1/22審査分が未加算です

剣道については、10メートル四方の試合場を三面有し、スポーツ会館露橋スポーツセンターに次ぐ立派なものであると思います。

今年から、愛知県剣道連盟主催の五地区対抗居合道大会が開催されるに併い、七月三十一日に第一回尾南地区居合道大会を、東海市民体育館の剣道場で開催しました。

まだく居合人口が少ないことと、私大関係の大会が重なった等の関係もあって、参加者は今一つと言う感じではあります。少年の部の演武に続き、段外から三段までの段別による試合、そして最後は高段者に武に引き締めた大会は、今後尾南地区的居合人口を増やして行くためには大変有意義でした。

これまで同稽古会を行っておりました。一般有段者ならば誰でも参加出来るシステムです。

ところが最近はメンバーが固定化されて来ている傾向にあります。

さて、尾南地区的居合人口を増やしていくためには大変有意義でした。

そのためには、地区内での活動が重要です。

そこで、尾南地区的居合人口を増やしていくためには、地区内での活動が重要です。

居合道だより

教士八段 秋田森治

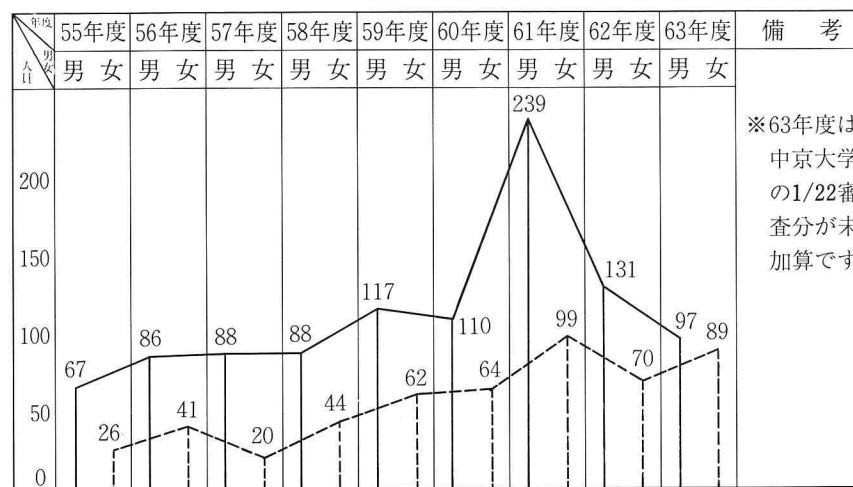
県内の居合道普及状況

居合道人口は別表のように年々増加してまいりました。

昭和五十五年から六十年までは豊橋で参段まで、名古屋で初段から五段までの審査を行つてまいりましたが、昭和六十一年から中京大学で参段までの審査を行い三本建となりました。特に女子の参加が年々増加してまいりました。全剣連の剣道一本の趣旨に沿う好ましい現状です。

平成元年六月には全剣連の居合講習会、六、七段の審査会、十月十五日には全日本居合道大会がいずれも露橋スポーツセンターで行われることになっております。

これを機会に居合熱を盛り上げて、いくためには、諸先生方の一層のご協力御力添え御支援をお願い申し上げます。



居合道年度別審査会場別初段取得者内訳 63. 12

年月日	審査会場	男	女	小計	合計	年月日	審査会場	男	女	小計	合計
55. 9/7	豊橋武道館	34	22	56		60. 9/8	豊橋	53	37	90	
9/23	名鉄	33	4	37	93	10/6	露橋	57	27	84	174
56. 8/16	豊橋	61	39	100		61. 9/7	豊橋	99	54	153	
9/20	名鉄	35	2	37	137	10/5	県スボ	48	22	70	
57. 9/12	豊橋	50	19	69		62. 1/18	中京大	92	23	115	338
9/26	露橋	38	1	39	108	9/6	豊橋	60	31	91	
58. 9/11	豊橋	61	40	101		10/4	県スボ	34	15	49	
9/25	露橋	27	4	31	132	63. 1/17	中京大	41	24	65	205
59. 9/2	豊橋	74	40	114		9/4	豊橋	54	55	109	
9/30	露橋	43	22	65	179	11/10	県スボ	43	34	77	181
						64. 1/22	中京大				1月22日審査会の予定 60~80程度

称号および段位合格者
りの創刊号を八月に発行しました。
編集委員は11市町から各一名選出
し、常任理事の大崎保氏を加えて十
二名のメンバーです。

杉山会長、谷理事長それに中村薰
先生からも原稿を戴き、尾南剣連の
あゆみ、剣道形のポイント、審査会
合規の秘訣、チビッコから熟年者の
剣士登場、市町の紹介、大会成績な
ど盛沢山な内容で、頭初の予算を大
分オーバーしてしまいましたが、地
区会員に大変好評なこともあり、常
任理事会で続刊を決定しました。

剣道七段（五月八日）
尾野博之(36)・曾我重信(39)・白井孝
一(40)・秋丸隆士(42)・諏訪州彦(44)・
野尻國一郎(48)・木本正次(63)
竹田弘(46)・小栗呂一(78)

剣道六段（五月七日）
菊地勝美(32)・藤本修身(33)・高橋敏
弘(34)・中田知則(35)・今泉弘(35)・
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
柴田宗平(33)・原田努(33)・津田悟
野尻國一郎(48)・木本正次(63)

剣道七段（五月八日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒井信
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
菊地勝美(44)・渡辺哲男(54)・木村静
哉(60)・林真年(65)

剣道六段（六月十二日）
伊藤宗太郎(73)・吉田伸一(33)・石田忠男(47)
辻強三(48)・山口峻輝(54)・村田和
夫(58)・青木良雄(65)
岡田慶男(45)・山中利曠(50)・宮下靜
雄(50)・長谷川清(51)・武田信三郎(59)
田中章生(37)・市村公勇(39)・酒

会員の声

特集 「わたしと剣道」

豊橋南部少年剣道教室

近藤純平

三年生から4年間剣道をやつてきて、良かった事が四つあります。

まず一つは、ほかの学校の人達とも友達になれたことです。今までクラスの人達や、近所の友達としか遊んでなかつたのに、今ではほかの学校の友達とも遊ぶようになつて楽しそも倍になりました。

二つ目は、礼儀が正しくなつたことです。以前には、親戚の人とか、お父さんや、お母さんの友達の人が来ても、あまり挨拶ができませんで挨拶ができるようになりました。

三つ目は、運動に関係することです。僕は一、二年生の頃まで足の速さは、普通くらいでした。持久走も速い方では有りませんでした。けれど四年生になる頃から、普通の上位になつてきました。それに、力も強くなつてきました。これもきっと剣道をやつたおかげだと思います。

残つたのはあと一つです。それは

試合に出で勝つことです。

「試合に勝つ」ということは、剣道をやついて、一番楽しくて、後から「よかつたな」と感じるのです。

だから、僕にとつては「試合に出で勝つ」ことも、よかつたことだとと思うのです。

これからも、剣道をやついてよかつたなーと思うことが、あとからあとから出てくるんじやないかと思います。

だから、中学・高校へいつても、ずっと剣道を続けたいと思います。

(6年・男)



カット 名短大付属高 大西洋子

名古屋市立千鳥丘中学校二年 松岡夏美

小学校の時、私は器楽部に入つてありました。今思い出してみると毎日が腹筋と足上げ、マウスピースによる基本練習とあまり楽しいものではありませんでした。でも二年間よく続いたと思います。

中学校に入学し、先輩の話を聞いたら「よかつたな」と感じるのです。

だから、僕にとつては「試合に出で勝つ」ことも、よかつたことだとと思うのです。

これからも、剣道をやついてよかつたなーと思うことが、あとからあとから出てくるんじやないかと思います。

だから、中学・高校へいつても、とにかく出てくるんじやないかと思います。

す。

滝高三年 杉本達哉

試合をして勝つことは、練習をする上でも大きな励みとなり、やる気を起こしてくれる。「剣道をする上での最も大きな喜びは、相手に勝つことである」と以前はそのように思ひ込んでいたが、それが目的ではない。日々の練習の中で、自分を正しく見つめ、厳しくあたることによつて、自己を高めていく。このようにして剣道を通じて人間形成に勤める。これが私の剣道をする上での目的である。

私は剣道を中学校から習いはじめた。友達の誘いに任せて、ただ何となくともなく剣道部に入部した。そして、二年生の春に小さな地方大会ではあつたが、初めて優勝し、大きな自信にもなつた。そのことがよい糧となり、今度も勝つてやるぞ、というように練習にも更に真剣味が増して、何回か大会を重ねるごとに、私はどんどん上達していった。実際、試合をしていても負ける気がしない、というほど私は慢心していた。そして、高校へ進学しても部活動を是非続けていこうと志した。高校に進学した私は、剣道では自分の予想していたほど活躍することはできなかつた。

滝高三年 杉本達哉

試合をして勝つことは、練習をする上でも大きな励みとなり、やる気を起こしてくれる。「剣道をする上での最も大きな喜びは、相手に勝つことである」と以前はそのように思ひ込んでいたが、それが目的ではない。日々の練習の中で、自分を正しく見つめ、厳しくあたることによつて、自己を高めていく。このようにして剣道を通じて人間形成に勤める。これが私の剣道をする上での目的である。

私は剣道を中学校から習いはじめた。友達の誘いに任せて、ただ何となくともなく剣道部に入部した。そして、二年生の春に小さな地方大会ではあつたが、初めて優勝し、大きな自信にもなつた。そのことがよい糧となり、今度も勝つてやるぞ、というように練習にも更に真剣味が増して、何回か大会を重ねるごとに、私はどんどん上達していった。実際、試合をしていても負ける気がしない、というほど私は慢心していた。そして、高校へ進学しても部活動を是非続けていこうと志した。高校に進学した私は、剣道では自分の予想していたほど活躍することはできなかつた。

滝高三年 杉本達哉

試合では通用しなかつた。試合展開を考えるという余裕もまるでなく、ただがむしゃらに打つていくという感じで、そこで改めて私は自分の精神的な甘さを痛感した。

そしてある日、剣道部である町の道場へ練習へ出かけたときに、「剣道の理念」というものを目にした。恥ずかしながら、今まで剣道を四、五年もやってきながら初めてそれを知った。そこには、「剣道とは剣の理法の修練による人間形成の道である。」とあつた。私はこの剣道の理念に強くひかれた。今までの剣道に対する考え方が一掃されて、目標にすべきものが見つかって、という感じだつた。試合に出て勝つことは嬉しい事ではあるが、それが本当ではない。剣道の理念にあるように、剣道を通じて深く自分を見つめて人格形成に勤め、充実した生涯を送つていく。そして、その結果として勝利があるのだ。

私は剣道を始めたのは、十五年前

の夏、主人にすすめられて、健康にいいからと言われ、半信半疑で子供と一緒に入門しました。初めて竹刀をふり、防具を付け、はたしてつづくかしらと思いつつ、今日に至つております。

よき師、よき先輩の御指導と主人に支えられ今日の自分があるのは、皆様のお蔭と本当に感謝致しております。剣道を始めて以来、私の人生は大きく変りました。剣道の訓が私の人生のしさえとなり、多くの剣道仲間を得るとともに、剣道を通じて健康管理と、美容に、こんなに実益があるとは思つてもみませんでした。

このすばらしい剣道を自分一人のものに終つてはならないと、地域社会で指導されている方の中に入り、精進することになったのは十三年前のことです。

道場で一緒に汗を流し、又交流の絶好の場として、奉仕を私の信条として、これからも長く精進する覚悟でおります。皆様に迷惑をかけぬよう、家庭をまもり、年も考えてください。剣道を通じて広く心を開き、人間味豊かにこの道を歩いてみたいと思

います。

私は、尊敬している先輩みたいに、強くて技のきれいな剣士をめざし、もつともっと努力していこうと思っています。おかげで現在一級に昇級しています。春には初段をとろうと思っています。

夏休みに入り、初めて防具のつけ方を教えてもらい、夏休み中は防具をつけて練習しました。何だか一人前の剣士になつたような気持でした。

剣道で私が初めて試合に出たのが新人戦で、予想したように一回戦で負けました。でも、この時は負けてくやしいという感情はありませんでした。

私は、尊敬している先輩みたいに、強くて技のきれいな剣士をめざし、もつともっと努力していこうと思っています。おかげで現在一級に昇級しています。春には初段をとろうと思っています。

今私のとつて、剣道は生活に張りをもたせてくれるこの上もなく大

きなものです。

私は、尊敬している先輩みたいに、強くて技のきれいな剣士をめざし、もつともっと努力していこうと思っています。おかげで現在一級に昇級しています。春には

平成元年度事業計画

財団法人 愛知県剣道連盟

4月 行事			5月 行事			6月 行事			7月 行事			
日	場所・時間	開催日	日	場所・時間	開催日	日	場所・時間	開催日	日	場所・時間	開催日	
1土	▲剣道六・七段審査会(初段) ※名古屋形講習会(初段)	10:00 2火	●第3回京都大会(3日～6日) ※古屋級審査会(1級～2級)	9:00 3水	●第4回日本本学年女子合同稽古会 ※第13回尾張地区教職員大会	9:00 4木	●第5回全国武道杯争奪予選会 ※第28回日本女子子供剣道選手権大会	10:00 5木	●第6回全国古屋級審査会 ※第17回碧南市剣道選手権大会(雨天中止)	9:00 6木	●第7回西尾小学校剣道大会(7日～8日) ※第36回日本学生女子剣道選手権試合	9:00 7金
8土	※名古屋形講習会(二段～五段) △名古屋形審査会(初段～参段) △尾張形講習～五段会・審査会	13:30 8日	●第8回三河級審査会 ※第12回張良・松道八段級審査会	9:00 9火	●第9回三河級審査会 ※第13回尾張地区教育委員会	9:00 10水	●第10回三河級審査会 ※第29回全国警察剣道選手権大会	9:00 11木	●第11回三河郡市对抗国体予選会 ※第24回東三河地区対抗居合道大会	9:00 12金	●第12回三河郡市对抗国体大会 ※第25回尾張地区中学剣道大会	9:00 13土
13木	●第13回警察剣道中央講習会(13～15日) ※西三河級審査会	9:30 14日	●第14回五段会・五段審査会 ※豊田春季少年剣道大会	9:30 15木	●第15回東三河形審査会 ※第30回県高松台体育大会各北支部予選	9:30 16火	●第16回三河級審査会 ※第36回東海学生剣道選手権大会	9:30 17水	●第17回三河級審査会 ※第29回東海女子学生剣道選手権大会	9:30 18木	●第18回三河級審査会 ※第3回高齢者講習会(20日～21日)	9:30 19金
20木	●第20回三河級審査会(初段～参段) ※第7回愛知県講習会(20日～21日)	10:00 21日	●第21回三河級審査会(初段～参段) ※第17回県教職員剣道大会	17:00 22木	●第22回三河級審査会(初段～参段) ※第18回三河級審査会(初段～参段)	9:00 23火	●第23回三河級審査会(初段～参段) ※第19回三河級審査会(初段～参段)	9:00 24水	●第24回三河級審査会(二～五段) ※第34回西日本学生剣道大会	10:00 25木	●第25回愛知県家庭婦人剣道大会 ※第27回東加茂郡民剣道大会(三重県)	10:00 26水
26木	●第26回三河級審査会(初段～参段) ※第27回道場連盟少年剣道競技大会	14:00 27木	●第27回三河級審査会 ※豊橋市長杯剣道大会	10:00 28金	●第28回三河級審査会 ※第29回春季剣道大会	10:00 29土	●第29回三河級審査会 ※第30回春季剣道大会	9:30 30日	●第30回三河級審査会 ※第31回春季剣道大会	10:00 31日	●第31回三河級審査会 ※第32回西三河級審査会(24～30日)	10:00 32日
33日	●第33回名古屋形講習会(初段～参段) ※第34回西日本学生剣道大会	14:00 34日	●第34回三河級審査会 ※第35回名古屋形講習会(8～9日)	15:30 35日	●第35回名古屋形講習会(9～10日)	10:00 36日	●第36回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 37日	●第37回全国日本学生剣道大会(10～11日)	10:00 38日	●第38回東京少年指導者講習会(9～10日)	10:00 39日
40日	●第40回三河級審査会 ※第41回尾張形講習会(10～11日)	14:00 41日	●第41回三河級審査会 ※第42回西三河級審査会(10～11日)	10:00 42日	●第42回西三河級審査会 ※第43回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 43日	●第43回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 44日	●第44回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 45日	●第45回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 46日
47日	●第47回三河級審査会 ※第48回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 48日	●第48回三河級審査会 ※第49回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 49日	●第49回三河級審査会 ※第50回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 50日	●第50回三河級審査会 ※第51回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 51日	●第51回三河級審査会 ※第52回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 52日	●第52回三河級審査会 ※第53回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 53日
54日	●第54回三河級審査会 ※第55回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 55日	●第55回三河級審査会 ※第56回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 56日	●第56回三河級審査会 ※第57回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 57日	●第57回三河級審査会 ※第58回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 58日	●第58回三河級審査会 ※第59回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 59日	●第59回三河級審査会 ※第60回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 60日
61日	●第61回三河級審査会 ※第62回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 62日	●第62回三河級審査会 ※第63回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 63日	●第63回三河級審査会 ※第64回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 64日	●第64回三河級審査会 ※第65回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 65日	●第65回三河級審査会 ※第66回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 66日	●第66回三河級審査会 ※第67回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 67日
68日	●第68回三河級審査会 ※第69回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 69日	●第69回三河級審査会 ※第70回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 70日	●第70回三河級審査会 ※第71回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 71日	●第71回三河級審査会 ※第72回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 72日	●第72回三河級審査会 ※第73回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 73日	●第73回三河級審査会 ※第74回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 74日
75日	●第75回三河級審査会 ※第76回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 76日	●第76回三河級審査会 ※第77回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 77日	●第77回三河級審査会 ※第78回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 78日	●第78回三河級審査会 ※第79回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 79日	●第79回三河級審査会 ※第80回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 80日	●第80回三河級審査会 ※第81回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 81日
82日	●第82回三河級審査会 ※第83回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 83日	●第83回三河級審査会 ※第84回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 84日	●第84回三河級審査会 ※第85回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 85日	●第85回三河級審査会 ※第86回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 86日	●第86回三河級審査会 ※第87回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 87日	●第87回三河級審査会 ※第88回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 88日
89日	●第89回三河級審査会 ※第90回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 90日	●第90回三河級審査会 ※第91回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 91日	●第91回三河級審査会 ※第92回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 92日	●第92回三河級審査会 ※第93回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 93日	●第93回三河級審査会 ※第94回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 94日	●第94回三河級審査会 ※第95回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 95日
96日	●第96回三河級審査会 ※第97回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 97日	●第97回三河級審査会 ※第98回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 98日	●第98回三河級審査会 ※第99回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 99日	●第99回三河級審査会 ※第100回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 100日	●第100回三河級審査会 ※第101回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 101日	●第101回三河級審査会 ※第102回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 102日
103日	●第103回三河級審査会 ※第104回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 104日	●第104回三河級審査会 ※第105回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 105日	●第105回三河級審査会 ※第106回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 106日	●第106回三河級審査会 ※第107回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 107日	●第107回三河級審査会 ※第108回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 108日	●第108回三河級審査会 ※第109回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 109日
110日	●第110回三河級審査会 ※第111回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 111日	●第111回三河級審査会 ※第112回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 112日	●第112回三河級審査会 ※第113回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 113日	●第113回三河級審査会 ※第114回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 114日	●第114回三河級審査会 ※第115回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 115日	●第115回三河級審査会 ※第116回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 116日
117日	●第117回三河級審査会 ※第118回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 118日	●第118回三河級審査会 ※第119回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 119日	●第119回三河級審査会 ※第120回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 120日	●第120回三河級審査会 ※第121回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 121日	●第121回三河級審査会 ※第122回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 122日	●第122回三河級審査会 ※第123回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 123日
124日	●第124回三河級審査会 ※第125回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 125日	●第125回三河級審査会 ※第126回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 126日	●第126回三河級審査会 ※第127回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 127日	●第127回三河級審査会 ※第128回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 128日	●第128回三河級審査会 ※第129回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 129日	●第129回三河級審査会 ※第130回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 130日
131日	●第131回三河級審査会 ※第132回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 132日	●第132回三河級審査会 ※第133回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 133日	●第133回三河級審査会 ※第134回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 134日	●第134回三河級審査会 ※第135回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 135日	●第135回三河級審査会 ※第136回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 136日	●第136回三河級審査会 ※第137回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 137日
138日	●第138回三河級審査会 ※第139回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 139日	●第139回三河級審査会 ※第140回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 140日	●第140回三河級審査会 ※第141回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 141日	●第141回三河級審査会 ※第142回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 142日	●第142回三河級審査会 ※第143回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 143日	●第143回三河級審査会 ※第144回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 144日
145日	●第145回三河級審査会 ※第146回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 146日	●第146回三河級審査会 ※第147回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 147日	●第147回三河級審査会 ※第148回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 148日	●第148回三河級審査会 ※第149回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 149日	●第149回三河級審査会 ※第150回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 150日	●第150回三河級審査会 ※第151回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 151日
152日	●第152回三河級審査会 ※第153回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 153日	●第153回三河級審査会 ※第154回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 154日	●第154回三河級審査会 ※第155回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 155日	●第155回三河級審査会 ※第156回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 156日	●第156回三河級審査会 ※第157回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 157日	●第157回三河級審査会 ※第158回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 158日
159日	●第159回三河級審査会 ※第160回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 160日	●第160回三河級審査会 ※第161回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 161日	●第161回三河級審査会 ※第162回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 162日	●第162回三河級審査会 ※第163回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 163日	●第163回三河級審査会 ※第164回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 164日	●第164回三河級審査会 ※第165回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 165日
166日	●第166回三河級審査会 ※第167回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 167日	●第167回三河級審査会 ※第168回名古屋形講習会(10～11日)	10:00 168日	●第168回三河級審査会 ※第169回名古屋形講習会(10～11日)	14:00 169日	●第169回三河級審査会 ※第170回名古屋形講習会(10～11					

平成元年度事業計画

12月 行事			1月 行事			2月 行事			3月 行事		
日	場所・時間	日	場所・時間	日	場所・時間	日	場所・時間	日	場所・時間	日	場所・時間
1金	●尾張稽古納め会	1月	17:00 2火	1木	2金	10土	●木刀道講習会(10日～11日)	1木	1木	1木	1木
2土	▲稽古納め・忘年会	2火	3水	2金	3土	11日	▲名古屋市級審査会(3級～2級)	2金	3土	4日	▲東海四県対抗剣道大会
3日	●東三河級審査会	3水	4木	3土	4日	12月	※名古屋級審査会	4日	4日	5月	※知立まこと少年少女剣道大会
4月	●東三河級審査会	4木	5金	4日	4日	13日	※西三河級審査会	5月	5月	5月	5月
5火	●近藤杯争奪剣道大会	5金	6土	5金	5金	14日	※西三河高校少年剣道大会	6火	6火	6火	6火
6水		6土	7日	6土	7日	15木	●剣道研究会(15日～17日)	7水	7水	7水	7水
7木		7日	8日	7日	8日	16金	●第5回強地区少年剣道大会・新規予選	8木	8木	8木	8木
8金		8日	9火	8日	9火	17土	▲第6回強地区少年剣道大会・新規予選	9金	9金	9金	9金
9土	●全剣連 ▲県連	9火	10水	9日	10水	18日	△第5回強地区少年剣道大会・新規予選	10土	10土	11日	11日
10日	▲稽古納め・忘年会	10水	11木	10日	11木	19日	※東三河級審査会(10日～11日)	11日	11日	12月	●第21回愛知県春季少年剣道大会
11月	●東三河級審査会	11木	12金	11木	12金	20火	△第5回強地区少年剣道大会・新規予選	12月	12月	13火	13火
12火	●安城市稽古納め会	12金	13土	12金	13土	21木	△居合道講習会(20日～21日)	13火	13火	14水	14水
13水		13土	14木	13土	14木	22木	▲杖道講習会(10日～21日)	14水	14水	15木	15木
14木		14木	15金	14木	15金	23木	△杖道講習会(10日～21日)	15木	15木	16金	16金
15金		15金	16土	15金	16土	24水	△第33回西尾劍道大会	16金	16金	17土	17土
16土	●名古屋稽古納め	16火	17水	16火	17水	25木	△第5回東三河春季少年剣道大会	17土	17土	18日	18日
17日	●西三河級審査会	17水	18木	17日	18木	26木	△第5回西三河春季少年剣道大会	18日	18日	19日	19日
18火	●西三河稽古納め・忘年会	18木	19金	18木	19金	27火	△第5回東三河春季少年剣道大会	19日	19日	20火	20火
19火		19火	20水	19火	20水	28水	△第5回東三河春季少年剣道大会	20火	20火	21水	21水
20水		20水	21木	20水	21木	29木	●第12回全国スポーツ少年団	21水	21水	30金	30金
21木		21木	22金	21木	22金	30土	●剣道交流大会(29日～31日)	30金	30金	31土	31土
22金		22金	23土	22金	23土	31日	●第6回西三河級審査会	31土	31土	●第6回西三河級審査会	31火
23土		23土	24日	23土	24日						
24日	●西三河級審査会	24日		24日							
25日				25日							
26火				26火							
27水				27水							
28木				28木							
29金				29金							
30土				30土							
31日				31日							

備考 ●全剣連 ▲県連 △県連開闢会 毎月第2月曜を除く毎月曜日(18:30)枇杷島

蒲郡体育館

毎月第2土曜日(18:30)枇杷島

毎月第3金曜日(19:00)露橋

毎月第4金曜日(19:00)露橋

毎月第5金曜日(19:00)露橋

毎月第6金曜日(19:00)露橋

毎月第7金曜日(19:00)露橋

毎月第8金曜日(19:00)露橋

毎月第9金曜日(19:00)露橋

毎月第10金曜日(19:00)露橋

毎月第11金曜日(19:00)露橋

毎月第12金曜日(19:00)露橋

毎月第13金曜日(19:00)露橋

毎月第14金曜日(19:00)露橋

毎月第15金曜日(19:00)露橋

毎月第16金曜日(19:00)露橋

毎月第17金曜日(19:00)露橋

毎月第18金曜日(19:00)露橋

毎月第19金曜日(19:00)露橋

毎月第20金曜日(19:00)露橋

毎月第21金曜日(19:00)露橋

毎月第22金曜日(19:00)露橋

毎月第23金曜日(19:00)露橋

毎月第24金曜日(19:00)露橋

毎月第25金曜日(19:00)露橋

毎月第26金曜日(19:00)露橋

毎月第27金曜日(19:00)露橋

毎月第28金曜日(19:00)露橋

毎月第29金曜日(19:00)露橋

毎月第30金曜日(19:00)露橋

毎月第31金曜日(19:00)露橋

毎月第1回

毎月第2回

毎月第3回

毎月第4回

毎月第5回

毎月第6回

毎月第7回

毎月第8回

毎月第9回

毎月第10回

毎月第11回

毎月第12回

毎月第13回

毎月第14回

毎月第15回

毎月第16回

毎月第17回

毎月第18回

毎月第19回

毎月第20回

毎月第21回

毎月第22回

毎月第23回

毎月第24回

毎月第25回

毎月第26回

毎月第27回

毎月第28回

毎月第29回

毎月第30回

毎月第31回

毎月第1回

毎月第2回

毎月第3回

毎月第4回

毎月第5回

毎月第6回

毎月第7回

毎月第8回

毎月第9回

毎月第10回

毎月第11回

毎月第12回

毎月第13回

毎月第14回

毎月第15回

毎月第16回

毎月第17回

毎月第18回

毎月第19回

毎月第20回

毎月第21回

毎月第22回

毎月第23回

毎月第24回

毎月第25回

毎月第26回

毎月第27回

毎月第28回

毎月第29回

毎月第30回

毎月第31回

毎月第1回

毎月第2回

毎月第3回

毎月第4回

毎月第5回

毎月第6回

毎月第7回

毎月第8回

毎月第9回

毎月第10回

毎月第11回

毎月第12回

毎月第13回

毎月第14回

毎月第15回

毎月第16回

毎月第17回

毎月第18回

毎月第19回

毎月第20回

毎月第21回

毎月第22回

計報

杉山 文藏（八十四才）

剣道範士 七段

（財）愛知県剣道連盟相談役

名古屋市昭和区小桜町一ノ三

平成元年三月四日 逝去

謹んでご冥福を
お祈り申し上げます

広報委員会により編集

鈴木 健一

渡辺 木三

中川 木一

若林 木健一

坂村 木三

平万 木一

幸治 木三

田萬 木一

松平 木三

広報「観の眼」第十二号

平成元年七月一日

財団法人愛知県剣道連盟

〒453 名古屋市中村区鳥居通り二ノ四

ウチフジビル二階

電話（〇五二）四八一一〇〇九三

FAX（〇五二）四八一一〇〇九五

題字・名誉会長 竹田弘太郎氏